

当科にて食道癌・胃癌でご加療中の方へ

当院では上部消化管悪性腫瘍（食道癌，胃癌）における免疫細胞の関与についての研究を行っております。免疫細胞とは人間の体に対して害（侵襲と言います）をなすもの（種々の菌による感染や癌などの悪性腫瘍，異物や死んだ細胞）に対してこれらを排除する事で健康を護る機能を持った細胞です。食道癌や胃癌などの周囲には多数の免疫細胞が存在していますが，その中にマクロファージと呼ばれる免疫細胞があります。本来，体にとって害となる癌細胞に対してこれを排除する役割を持つマクロファージですが，実はある種類のマクロファージは癌の成長や転移を助けている事が近年解ってきました。

人間の骨髄で造られたマクロファージは血液の流れに入った後，様々な信号を受けて，侵襲が起こっている部位に集まります。情報を受けたマクロファージが体の異常に対して駆けつける現象を“遊走”と呼びますが，そのメカニズムに関係する FROUNT と呼ばれるタンパク質が東京大学医学部分子予防医学教室により報告されました。肺癌における動物実験では，FROUNT が体内で発現している（存在する）個体に比べ，発現していない個体では癌の成長が遅い事が報告され，マクロファージの遊走を妨げる事で癌の成長が抑えられる可能性が示唆されました。

本研究では，食道癌や胃癌など上部消化管悪性腫瘍において FROUNT 及びそれが結合する蛋白質が癌の組織に発現しているかを明らかにし，また臨床的な経過とどのように関係しているかを解明する事を目的としています。本研究の結果次第では食道癌，胃癌のより良い治療に役立てる事が可能と考えています。

【研究課題】

上部消化管悪性腫瘍におけるケモカイン受容体およびシグナル伝達因子発現に関する研究

審査番号 11724

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科消化管外科学講座
研究責任者 東京大学大学院医学系研究科消化管外科学講座
東京大学医学部附属病院胃・食道外科 教授 瀬戸泰之

【研究期間】

（承認後）～2020年3月31日

【対象となる方】

2003年1月1日～2017年3月31日までに当院胃食道（乳腺内分泌）外科で食道癌，胃癌で手術を受けた患者さんが対象となります。

【研究の意義・目的】

我が国における食道癌は年間2万人、胃癌は13万人が罹患する疾患で、いずれも癌による死亡の上位となっています。現行の食道癌、胃癌のガイドラインでは臨床病期(ステージ)によって内視鏡治療、手術、化学療法、放射線療法などが治療として選択されます。ステージが進行するほど予後が悪く、特に進行癌に置いて現状の治療では十分に病気をコントロールできていないというのが現状です。

近年、免疫細胞(細菌、ウイルス、異物、腫瘍などから体を守る細胞)が癌の増大、転移に関与している事が明らかになってきました。その中でもマクロファージと言われる細胞は本来、異物であるべき腫瘍を攻撃・排除せず逆に成長を促す形で関与している事が報告されています。

このマクロファージが腫瘍周囲に集まる現象(遊走といいます)と密接に関与している FROUNT と呼ばれる物質が報告されています。本研究は FROUNT が上部消化管(食道や胃)の腫瘍および免疫細胞に発現しているかを調べ、更に癌の進行や臨床的な経過との関係を調べる事を目的とします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査、臨床経過及び手術時に採取され保存されている凍結検体及び病理検体を用いて行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

これら保存検体を用いて腫瘍及び免疫細胞に FROUNT 及びその結合蛋白の存在の有無を解析し、更にカルテ上に保存されている臨床経過と比較しその意義を検証します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において岩田亮平、川崎浩一郎が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたスタンドアローンのパソコンで厳重に保管します。個人情報と切り離れた検体は東京大学大学院医学系研究科消化管外科学講座の実験室及び東京大学医学部分子予防教室の実験室にて解析いたします。

ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで [2018年6月31日までにご連絡](#)ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会や論文等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科消化管外科学講座の運営交付金から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科消化管外科学講座

東京大学医学部附属病院胃・食道外科 大学院生 岩田亮平

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-3815-5411 (内線 32924) FAX：03-5800-6937

Eメールでのお問い合わせ：IWATAR-SUR@h.u-tokyo.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院 診療科名 胃食道外科

診療科責任者名 瀬戸泰之